# 医化学Ⅱ

責任者・コーディネーター	分子医化学分野 古山	和道 教授			
担当講座・学科(分野)	学長、分子医化学分野、医学教育学分野、消化器内科肝臓分野、腫瘍生物学研究部門、神経科学研究部門、細胞情報科学分野、看護学部看護専門基礎講座				
担 当 教 員	担 当 教 員 祖父江 憲治 学長、佐藤 洋一 教授、古山 和道 教授、滝川 康裕 教授、石崎 明 教授、遠藤 龍人 教授、久保田 美子 准教授、加茂 政 晴 准教授、金子 桐子 講師、真柳 平 講師、帖佐 直幸 講師、野村 和美 助教、安平 進士 助教				
対象学年 2		577、吐胆粉	講義 37.5 時間		
期間前期		区分·時間数	実習 36.0 時間		

### · 学習方針(講義概要等)

医化学は生命現象を分子レベルで明らかにしようとする学問である。言い換えれば、生体がどのような特性を持つ分子から成り立っているのか、それらの分子が生体内で如何にして合成・分解されるか、さらにこれらの分子が生体システムのなかでどのように統合・調節され、その機能を営んでいるかを、生化学的手法で明らかにする生命科学である。

学習者は、医化学を学ぶにあたって、単に知識を暗記するのではなく、科学的思考を基盤にして、生命現象の法則性を理解するように努めなければならない。

#### ・教育成果(アウトカム)

基本的な生化学的知識、病態時の医化学的知識、更に最新の生化学的知識を修得することにより、科学的な思考能力と医学を含めた科学に対する真摯な態度を身につける。

(ディプロマ・ポリシー: 2, 6, 8)

## ·到達目標(SBO)

- 1)生体構成成分の基本的な構造、化学的特性、機能との関連性を説明できる。
- 2)細胞が生命活動を維持するために行っているエネルギーの利用について概略を説明できる。
- 3)酵素の基本的性質と、反応速度論が説明できる。

- 4)代謝の概略が説明できる。
- 5)生体物質(糖質、脂質、タンパク質、ヌクレオチドなど)の中間代謝とその調節機構について説明できる。
- 6)様々な組織における代謝や機能の相違と関連を説明できる。
- 7)細胞間のシグナル伝達を説明できる。
- 8)活性酸素種の生成と分解、及びその制御機構について説明できる。

## ・講義日程

(矢) 西 102 1-B 講義室 (矢) 西 204 2-C 実習室(生理生化 1)

## 【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/5	水	1	分子医化学分野	古山 和道 教授	分子医化学ガイダンス アミノ酸代謝 1
4/5	水	2	分子医化学分野	古山 和道 教授	アミノ酸代謝 2
4/12	水	1	分子医化学分野	古山 和道 教授	アミノ酸代謝 3
4/12	水	2	分子医化学分野	古山 和道 教授	アミノ酸代謝異常症
4/17	月	1	分子医化学分野	人保田 美子 准教授 大保田 美子 准教授	ヌクレオチド代謝 1
4/17	月	2	分子医化学分野	│ │久保田 美子 准教授 │	ヌクレオチド代謝 2
4/19	水	2	神経科学研究部門	真柳 平講師	ビタミン 1
4/26	水	1	神経科学研究部門	真柳 平講師	ビタミン 2
5/8	月	2	神経科学研究部門	真柳 平講師	ホルモン 1
5/10	水	1	神経科学研究部門	真柳 平講師	ホルモン 2
5/15	月	1	分子医化学分野 分子医化学分野	古山 和道 教授 久保田 美子 准教授	糖質代謝と脂質代謝の復習

5/15	月	2	分子医化学分野	古山 和道 教授	代謝相関
5/17	水	1	分子医化学分野	古山 和道 教授	代謝異常症
5/22	月	1	分子医化学分野	金子 桐子 講師	フリーラジカル、活性酸素
5/24	水	1	細胞情報科学分野	   帖佐   直幸 講師 	水分とミネラル代謝
5/31	水	1	細胞情報科学分野	石崎 明 教授	骨の生化学
6/7	水	1	学長	祖父江 憲治 学長	細胞運動、細胞骨格、細胞接着
6/19	月	3	学長	祖父江 憲治 学長	筋肉の生化学
6/19	月	4	学長	祖父江 憲治 学長	脳の生化学(シナプス形成・神経伝達 物質)
6/21	水	1	分子医化学分野	古山 和道 教授	鉄代謝・ヘム代謝とその異常
6/21	水	2	分子医化学分野	古山 和道 教授	アポトーシス
6/21	水	3	分子医化学分野	古山 和道 教授	血液の生化学
6/21	水	4	分子医化学分野	古山 和道 教授	糖タンパク質
6/22	木	1	分子医化学分野 分子医化学分野	古山 和道 教授 久保田 美子 准教授	医化学実習ガイダンス
6/22	木	2	分子医化学分野 分子医化学分野	古山 和道 教授 久保田 美子 准教授	医化学実習ガイダンス

# 【実習】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
6/22	木	3	医学教育学分野 消化器内科肝臓分野	佐藤 洋一 教授 滝川 康裕 教授	実習講義Ⅰ:肝臓の生化学
6/22	木	4	分子医化学分野 分子医化学分野 分子医化学分野 分子医化学分野	古山 和道 教授 久保田 美子 准教授 金子 桐子 講師 野村 和美 助教	基本手技の確認

			細胞情報科学分野 細胞情報科学分野 細胞情報科学分野 神経科学研究部門 腫瘍生物学研究部門	石崎 明 教授 加茂 政晴 准教授 帖佐 直幸 講師 真柳 平 講師 安平 進士 助教	
6/23	金	3	分子医化学分野 分子医化学分分野 分子医化学分分野 分方子医化学分分野 細胞情報科学分野 細胞情報科学分野 細胞情報科学研究部門 腫瘍生物学研究部門	古山 和道 教授 教授 教授 全子 桐子 講教 开始 明 教 教授 和美 对 和 , 对 和 , 对 , 对 , 对 , 对 , 对 , 对 , 对 ,	〈肝機能実験〉TAG 定量
6/23	金	4	分子医化学分野 分子医化学分野 分子医化学分分野 分子医化学分分野 細胞情報科学分别 細胞情報科学分野 細胞情報科学研究部門 腫瘍生物学研究部門	古山 和道 教授 教授 教授 人名 人名 一	〈肝機能実験〉TAG 定量
6/26	月	3	分子医化学分野 分子医化学分分野 分子医化学分分野 分子医化学分分野 細胞情報科学分别 細胞情報科学分野 細胞情報科学研究部門 腫瘍生物学研究部門	古山 和道 教授 教授 教授 全子 桐子 開新 新	〈肝機能実験〉血清コレステロール定量
6/26	月	4	分子医化学分野 分子医化学分野 分子医化学分野 分子医化学分野 細胞情報科学分野 細胞情報科学分野 細胞情報科学分野 細胞情報科学研究部門 腫瘍生物学研究部門	古山 和道 教授 久保田 美子 准教授 金子 桐子 講師 野村 和美 助教 石崎 明 教授 加茂 政晴 准教授 帖佐 直幸 講師 真柳 平 講師 安平 進士 助教	〈肝機能実験〉血清コレステロール定量
6/27	火	3	分子医化学分野 分子医化学分野 分子医化学分野 分子医化学分野	古山 和道 教授 久保田 美子 准教授 金子 桐子 講師 野村 和美 助教	〈肝機能実験〉血清 AST、ALT 定量

			細胞情報科学分野 細胞情報科学分野 細胞情報科学分野 神経科学研究部門 腫瘍生物学研究部門	石崎 明 教授 加茂 政晴 准教授 帖佐 直幸 講師 真柳 平 講師 安平 進士 助教	
6/27	火	4	分子医化学分野 分子医化学分野 分子医化学分野 分子医化学分野 細胞情報科学分野 細胞情報科学分野 細胞情報科学分野 細胞情報科学研究部門 腫瘍生物学研究部門	古山 和道教授 为授 和美子 調報 为授 和美子 精明 和美 助教 石崎 明教 五崎 明教 在	〈肝機能実験〉血清 AST、ALT 定量
6/28	水	3	分子医化学分野 分子医化学分野 分子医化学分野 分子医化学分别 細胞情報科学分别 細胞情報科学分野 細胞情報科学研究部門 腫瘍生物学研究部門	古山 和道 教授 久保田 美子 准教授 金子 桐子 講師 野村 和美 助教 石崎 明 教授 加茂 政晴 准教授 临左 直幸 講師 真柳 平 講師 安平 進士 助教	〈肝機能実験〉PT 測定、データ解析 〈PBL〉発表準備
6/28	水	4	分子医化学分野 分子医化学分野 分子医化学分野 分子医化学分野 細胞情報科学分野 細胞情報科学分野 細胞情報科学分野 神経科学研究部門 腫瘍生物学研究部門	古山 和道 教授 久保田 美子 准教授 会子 桐子 講師 野村 和美 助教 石崎 明教 授 加茂 政晴 准教授 直幸 講師 真柳 平 講師 安平 進士 助教	〈肝機能実験〉PT 測定、データ解析 〈PBL〉発表準備
6/29	木	3	分子医化学分野 分子医化学分野 分子医化学分野 分子医化学分野 細胞情報科学分别 細胞情報科学分野 細胞情報科学研究部門 腫瘍生物学研究部門	古山 和道 教授 久保田 美子 准教授 金子 桐子 講師 野村 和美 助教 石崎 明 教授 加茂 政晴 准教授 临左 直幸 講師 真柳 平 講師 安平 進士 助教	〈肝機能実験〉結果まとめ、考察
6/29	木	4	分子医化学分野 分子医化学分野 分子医化学分野 分子医化学分野	古山 和道 教授 久保田 美子 准教授 金子 桐子 講師 野村 和美 助教	〈肝機能実験〉ノート整理、課題の解 答

			細胞情報科学分野 細胞情報科学分野 細胞情報科学分野 神経科学研究部門 腫瘍生物学研究部門	石崎 明 教授 加茂 政晴 准教授 帖佐 直幸 講師 真柳 平 講師 安平 進士 助教	
6/30	金	3	分子医化学分野 分子医化学分野 分子医化学分野 分子医医化学分野 知胞情報科学分野 細胞情報科学分野 細胞情報科学分野 神経科学研究部門 腫瘍生物学研究部門	古山 和道 教授 大田 美子 講教 大保田 美子 講師 野村 和美 助教 石 和	〈形質転換実験〉実習講義、大腸菌の 形質転換
6/30	金	4	分子医化学分野 分子医化学分野 分子医化学分野 分子医化学分别 細胞情報科学分别 細胞情報科学分野 細胞情報科研究部門 種寫生物学研究部門	古山 和道 教授 久保田 美子 准教授 金子 桐子 講師 野村 和美 助教 石崎 明 教授 加茂 政晴 准教授 加茂 直幸 講師 真柳 平 講師 安平 進士 助教	〈形質転換実験〉大腸菌の形質転換
7/3	月	3	分子医化学分野 分子医化学分野 分子医化学分野 分子医化学分野 細胞情報科学分野 細胞情報科学分野 細胞情報科学分野 神経科学研究部門 腫瘍生物学研究部門	古山 和道 教授 久保田 美子 准教授 会子 桐子 講師 野村 和美 助教 石崎 明教 授 加茂 政晴 准教授 直幸 講師 真柳 平 講師 安平 進士 助教	〈形質転換実験〉遺伝子解析(colony PCR)
7/3	月	4	分子医化学分野 分子医化学分野 分子医化学分野 分子医化学分野 細胞情報科学分别 細胞情報科学分野 細胞情報科学分野 神経科学研究部門 腫瘍生物学研究部門	古山 和道 教授 久保田 美子 准教授 金子 桐子 講師 野村 和美 助教 石崎 明 教授 加茂 政晴 准教授 临左 直幸 講師 真柳 平 講師 安平 進士 助教	〈形質転換実験〉大腸菌の培養
7/4	火	3	分子医化学分野 分子医化学分野 分子医化学分野 分子医化学分野	古山 和道 教授 久保田 美子 准教授 金子 桐子 講師 野村 和美 助教	〈形質転換実験〉タンパク質解析(試料 調整)

			細胞情報科学分野 細胞情報科学分野 細胞情報科学分野 神経科学研究部門 腫瘍生物学研究部門	石崎 明 教授 加茂 政晴 准教授 帖佐 直幸 講師 真柳 平 講師 安平 進士 助教	
7/4	火	4	分子医化学分野 分子医化学分野 分子医化学分子 医化学分子 細胞情報科学分别 細胞情報科学分野 細胞情報科学分部門 種瘍生物学研究部門	古山 和道 教授 教授 教授 人名子 桐子 講教 一种	〈形質転換実験〉機能解析(紫外線照射)
7/5	水	3	分子医化学分野 分子医化学分子 分子医化学分子 一个子医化学分子 一种原情報科学分别 細胞情報科学分别 細胞情報科学分部門 種寫生物学研究部門	古山 和道 教授 教授 教授 人名 人名 一种 人名 一种	〈形質転換実験〉タンパク質解析 (SDS-PAGE, blocking, 抗体反応)
7/5	水	4	分子医化学分野 分子医化学分野 分子医化学分野 分子医化学分别 細胞情報科学分野 細胞情報科学分野 細胞情報科学分野 細胞精報学研究部門 腫瘍生物学研究部門	古山 和道 教授 教授 教授 全子 桐子 講教 开始 明 教 教授 和 新 教 教授 和 新 教 教授 和 市茂 政 市 市茂 政 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市	〈形質転換実験〉機能解析(紫外線照射 後の効果の観察)
7/6	木	3	分子医化学分野 分子医化学分野 分子医化学分野 分子医化学分野 細胞情報科学分野 細胞情報科学分野 細胞情報科学分野 神経科学研究部門 腫瘍生物学研究部門	古山 和道 教授 久保田 美子 准教授 金子 桐子 講師 野村 和美 助教 石崎 明 教授 加茂 政晴 准教授 帖佐 直幸 講師 真柳 平 講師 安平 進士 助教	〈形質転換実験〉タンパク質解析(検 出)
7/6	木	4	分子医化学分野 分子医化学分野 分子医化学分野 分子医化学分野	古山 和道 教授 久保田 美子 准教授 金子 桐子 講師 野村 和美 助教	〈形質転換実験〉遺伝子解析(電気泳動)

			細胞情報科学分野 細胞情報科学分野 細胞情報科学分野 神経科学研究部門 腫瘍生物学研究部門	石崎 明 教授 加茂 政晴 准教授 帖佐 直幸 講師 真柳 平 講師 安平 進士 助教	
7/7	金	3	分子医化学分野 分子医化学分野 分子医化学分分野 知胞情報科学分野 細胞情報科学分野 細胞情報科学分野 細胞精報科学研究部門 腫瘍生物学研究部門 種農学師看護専門基礎講座	古山 和美子 教授 教授 教 准 和 美子 講師 和 美子 講師 和 子 ,	結果まとめ、考察
7/7	金	4	分子医化学分野 分子医化学分分野 分子医化学分分野 分子医化学分分野 細胞情報科学分野 細胞情報科学分野 細胞情報科学研究部門 腫瘍生物学研究部門 種農学部費門基礎講座	古人保子 村	ノート整理、ノート提出

# ・教科書・参考書等

教:教科書 参:参考書 推:推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	イラストレイテッド ハーパ ー・生化学 原書 30 版	V. W. Rodwell, D. A. Bender 他著	丸善出版	2016
教	リッピンコットシリーズ イ ラストレイテッド生化学 原 書6版	R. A. Harvey, D. R. Ferrier 著	丸善出版	2015
教	レーニンジャーの新生化学 上・下 第 6 版	D. L. Nelson, M. M. Cox 著	廣川書店	2015

### ·成績評価方法

期末試験(多肢選択客観試験+論述試験)にて判定する。

講義の一環として行なわれる確認試験等の成績も判定材料とする。

全コマ数の3分の2を受講した者にのみ進級試験の受験を認める。

実習については基本的に欠席や早退を認めない。ただし「欠席の取扱いに関する規程」第4条に掲げる理由に依る場合、あるいは病気等による欠席で、医師の診断書を添えた欠席届の提出を伴う場合にはこれを考慮する事がある。

### ・特記事項・その他

シラバスに記載されている内容及び各回に配布・提示される教科書・レジメを用いて事前学修(予習・復習)を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。

# ・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
実習	サーマルサイクラー	3	実習
実習	分光光度計	3	実習
実習	アルミブロック恒温器	1	実習
講義	ノートパソコン	1	出欠、成績、講義準備
講義	ペンタブレット	1	講義
実習	ポータブル電気伝導率計	1	実習
実習	ポータブル電気伝導率計	1	実習
講義	パソコン	1	講義(出席状況等)記録
実習	超低温フリーザー	1	実習試薬保管

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	レーザービームプリンター	1	講義配布物、試験印刷